

NEWSWAVE

~ 新しい時代を切り拓く実践経営情報紙 ~

発行

(株)本宮会計センター

〒969-1169

福島県本宮市本宮字小原田 2 0 0 - 2

TEL 0243-33-5535 FAX 0243-33-4467

2016 年分路線価は 8 年ぶりに上昇 日本一は 31 年連続で銀座「鳩居堂前」

全国の国税局・税務署において 7 月 1 日、相続税や贈与税の土地等の課税評価額の基準となる 2016 年分の路線価及び評価倍率が公表された。今年 1 月 1 日時点の全国約 32 万 8 千地点における標準宅地の前年比の変動率の平均は 0.2% (昨年 0.4%) とわずかながら上向き、8 年ぶりの上昇となった。

都道府県別の路線価をみると、標準宅地の評価基準額の対前年変動率の平均値の上昇率が「5%未満」の都道府県は、昨年分の 1 都 2 府 7 県から 1 都 2 府 11 県の計 14 都府県に増えた。下落率が「5%未満」の都道府県は昨年の 35 道府県から 33 道府県に減少し、下落率が「5%以上」の都道府県は昨年に引き続きゼロとなった。路線価が 8 年ぶりに上昇した要因には、金融緩和等の後押しもあり不動産向け投資が拡大したことや、訪日外国人の増加を見込んだ店舗・ホテル需要の高まりなどがある。

都道府県庁所在都市の最高路線価では、1 位は東京・中央区銀座 5 丁目の「銀座中央通り」で、1 平方メートル当たりの路線価は前年から 18.7% 上昇の 3200 万円となった。以下、大阪・北区角田町の「御堂筋」1016 万円 (増減率 + 22.1%)、名古屋市中村区名駅 1 丁目「名駅通り」840 万円 (同 + 14.1%)、横浜市西区南幸 1 丁目の「横浜駅西口バスターミナル前通り」781 万円 (同 + 9.5%) と続く。

路線価日本一は、31 年連続 1 位となる東京・銀座「鳩居堂前」(1 平米 3200 万円) で、新聞紙 1 枚当たり約 1411 万円となる。

家計は「投資より貯蓄」傾向が続く 投資家比率 シニア 6 割、若年層 4 割

日本証券業協会の 2015 年調査によると、15 年の個人投資家比率は 60 歳以上のシニア層が過半数の 56%、前年より 5 ポイント増えた。年収をみると、300 万円未満が 48% と最も多く、約 7 割が年収 500 万円未満で、前年より微増した。

株式保有額は「100~300 万円未満」が 33% と最も多く、73% が保有額 500 万円未満。同協会がシニアの個人投資家が増すのは嬉しいが、若年層が約 4 割と上向かないのが悩みという。

日銀が 3 月に発表した資金循環統計 (2015 年 10~12 月速報) では個人 (家計部門) の金融資産残高 (12 月末) は 1741 兆円。1 年前と比べ 29 兆円増 (1.7%) と過去最高。内訳は株式などが 169 兆円 (前年比 5 兆円増)。対する現金・預金は 902 兆円 (同 12 兆円増) と後者が圧倒する。「投資より貯蓄」傾向は、もはや日本人の特質で生活設計に深く刷り込まれた感がある。

国民の多くは、現経済の雇用増や所得増は認めるが、消費増や投資増には踊らされる気分になれないようだ。金融機関などシンクタンクは「長期の低金利で現金の運用先がみつけにくい」、「マイナス金利導入で不安は増幅している」とみる。

タンス預金も増えた。日銀は「マイナス金利の名称は響きが悪い」と反省しきりだが...。カゴメなど上場企業は現状打破に若年層向けの IR 活動に力を入れ始めたのは朗報か。



弊社では「MCS NEWS WAVE のメール配信」を促進しております!!

メールアドレスをご記入のうえ、0243-33-4467 までご返信ください

メールアドレス

@

FAX の印字状況により、文字が読み取りにくい時は確認の為、当社よりご連絡をする場合がございます。

ご不要の場合または、該当者がお出でにならない場合は、FAX を返信頂ければ次週より配信を停止致します。